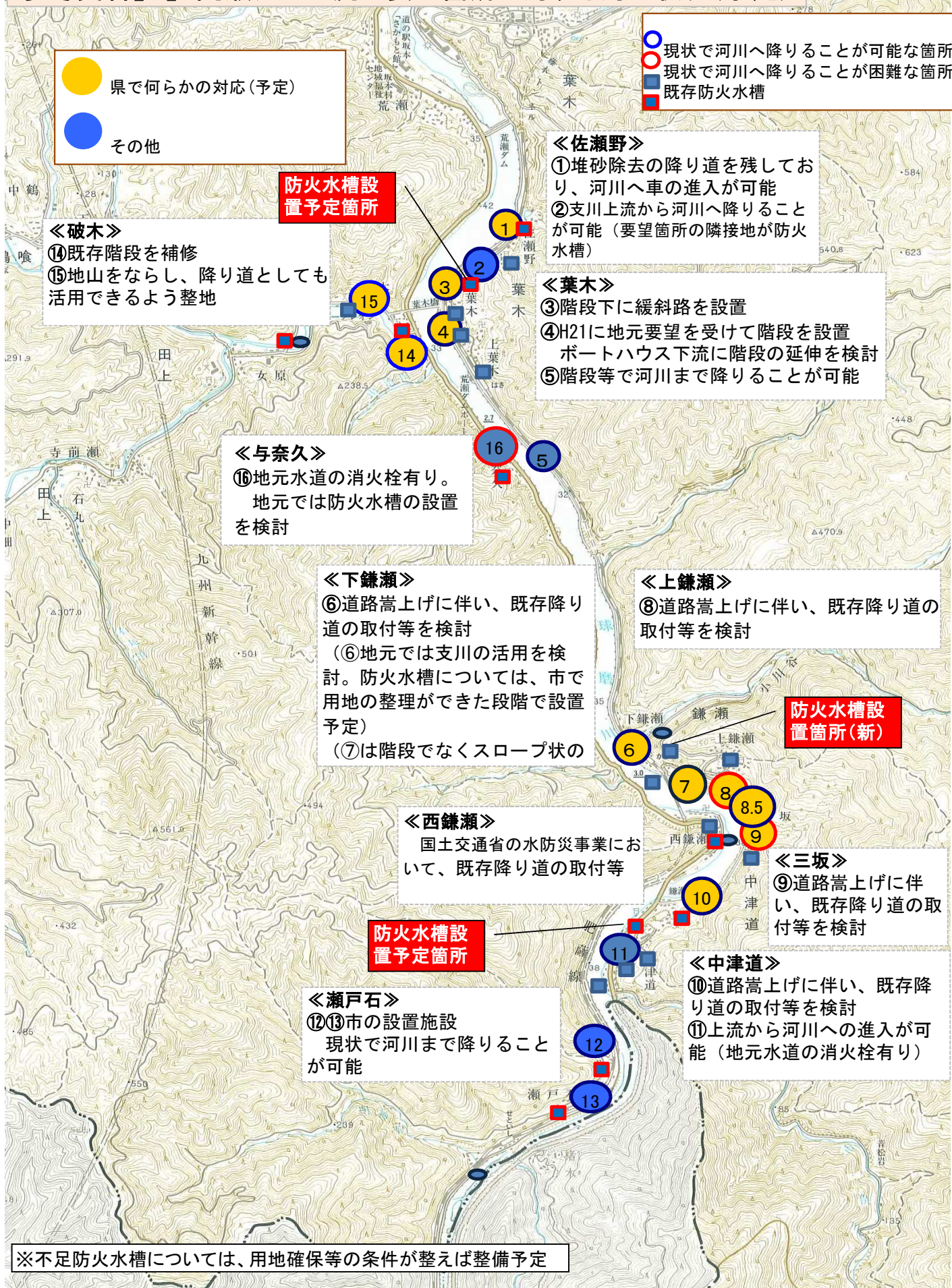


参考資料【A】 荒瀬ダム上流の要望箇所に対する対応状況(予定)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

荒瀬ダム上流における消火施設等状況

- 河川からの取水が可能な箇所
- 河川からの取水が困難な箇所
- 既存防火水槽
- 不足する防火水槽

《破木》
防火水槽1基。消火栓8基。

《佐瀬野》
防火水槽1基。消火栓無し。

《葉木》
防火水槽3基。
地元水道による消火栓有り。
(ただし、水量に難あり)

《与奈久》
防火水槽無し。
地元水道による消火栓3基。
不足防火水槽1基。

《下鎌瀬》
防火水槽1基。消火栓無し。
固定配管1基。
不足防火水槽1基。

《上鎌瀬》
防火水槽1基。消火栓8基。
固定配管1基
ただし、水利から取水できない状

《西鎌瀬》
防火水槽1基。消火栓6基。

《三坂》
防火水槽1基。
消火栓無し。

《自然水利》

荒瀬ダム上流部に位置する地区においては、比較的簡単に自然水利からの取水が可能であったが、水位低下後、その自然水利までの位置が遠く道路からの落差が大きいこと、消火時に使用する小型ポンプの重量が約100kgあること等から、安全かつ迅速に河川から取水することは困難な状況となった。

《瀬戸石》
防火水槽無し。消火栓5基。
固定配管1基、
ただし、水利から取水が困難。

《中津道》
防火水槽3基。消火栓18基。
不足防火水槽2基。

既存防火水槽・・・12基
不足する防火水槽・・・10基